



奈良文化財研究所 平城宮跡解説ボランティアが新体制で活動を開始

奈良文化財研究所 平城宮跡解説ボランティアは、奈文研の調査研究の成果にもとづいた解説を通じて、来訪者の方々に奈良時代の遺構が保存されてきた平城宮跡の大切さ、素晴らしさを伝え、奈文研の調査研究成果の理解を深めて、楽しんでいただくことを目的とし、平城宮跡資料館、文化庁の公開施設（第一次大極殿、朱雀門、遺構展示館、東院庭園）の定点における解説案内およびツアーガイドをおこなっています。

この解説ボランティア制度は、1999年から実施していますが、来訪者への対応をさらに充実させるために、所内で議論を重ね、①グループ制・リーダー制の導入、②基礎研修の内容充実と定期的な勉強会の開催、③奈文研と解説ボランティアが意見交換をする連絡会議の設置等を盛り込んだ新制度を策定し、2017年8月に募集をおこないました。その結果、奈良市以外の遠方の方も含む多数の応募があり、選考と基礎研修の受講を経て、174名を登録しました。

今回の基礎研修では、研究員の講義および、各定点の解説案内に即した実地研修、外部講師による来

訪者対応の接遇の講義等も実施するほか、解説ボランティア活動の心得等をまとめたハンドブックを作成・配布しました。また、新たな試みとして、奈文研と解説ボランティアの交流会や解説ボランティアに向けた平城宮跡東院地区の発掘調査の現地説明会を開催しました。

2018年1月からこの新たな制度と体制のもとで活動を開始しました。3月24日には平城宮跡歴史公園の開園にともない、朱雀門ひろばの東側に国土交通省の平城宮いざない館が開館しましたが、同館の詳覧ゾーンでは平城宮跡から出土した遺物等が展示されていますので、新たに解説ボランティアの定点に加えて、解説案内を始めています。

解説ボランティアは多様な来訪者の方々に応じた解説案内をおこなっていますので、この解説案内を通じて、来訪者の方々に奈良時代に思いを馳せながら楽しい一時を過ごしていただければと思います。

解説ボランティアは、原則、月曜日（月曜日が祝日の場合は翌平日）および年末年始（12月29日から1月3日）を除いて9時から16時半に解説案内をおこなっています。ぜひ平城宮跡へお越しいただき、ボランティアの解説を聞いてみて下さい。

（研究支援推進部 津田 保行）



実地研修の様子



第一次大極殿での活動